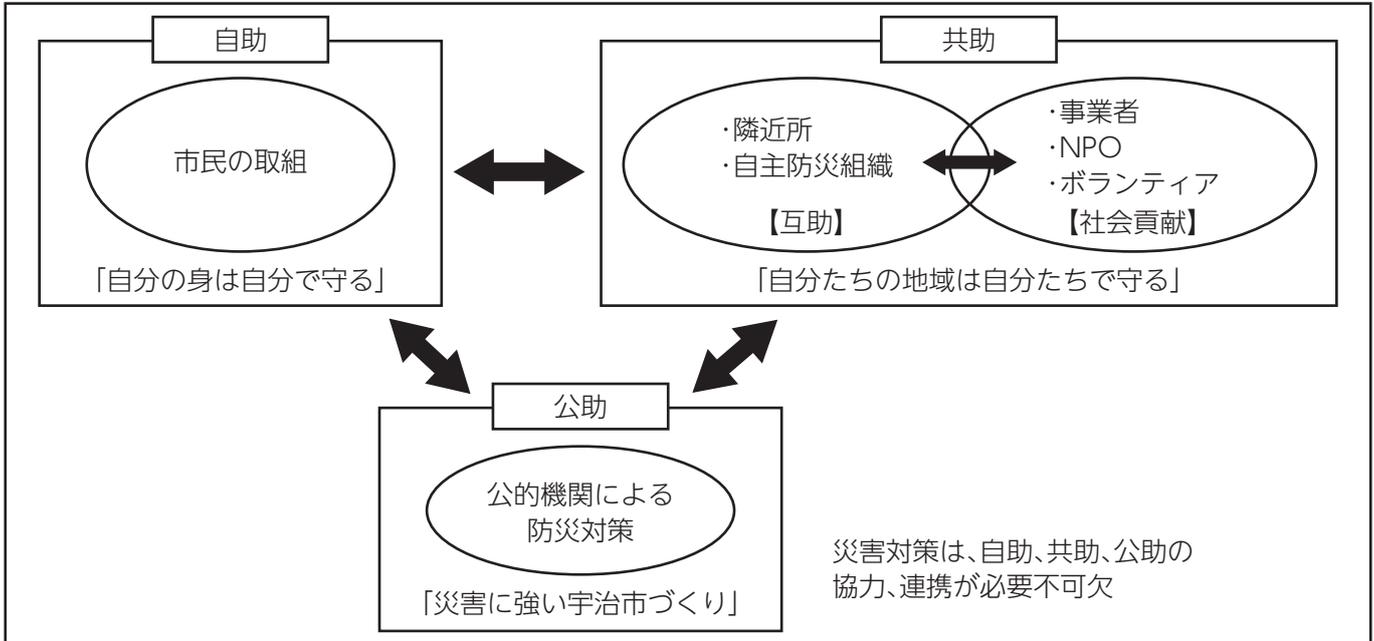


防災情報



宇治市における防災の基本的な考え方

災害が発生した際、できるだけ被害を小さく抑えるには、公的機関による取組(公助)のほか、「自分の身は自分で守る」(自助)、「自分たちの地域は自分たちで守る」(共助(互助))という心構えが大切です。



防災情報 ▼ 宇治市における防災の基本的な考え方 / 避難の種類

避難の種類

「避難」とは「難を避ける」ことであり、避難所に行くことだけが避難ではありません。災害時の避難の手法について事前に検討しておきましょう。

- ①在宅避難
ハザードマップ等を確認の上、自宅での安全確保ができる場合は、在宅避難について検討しましょう。
- ②親戚や知人宅等への避難
自宅の安全が確保できない場合には、安全な場所にある親戚や知人宅等への避難について検討しましょう。
- ③避難所への避難
在宅避難、親戚や知人宅等への避難が困難な場合には、市が開設する避難所へ非常用持ち出し品を持って避難しましょう。

〈以下は広告スペースです〉

防災用品の事なら 当店へ

防災士のいる

プロと考えるあなたに必要な防災グッズ

法人 個人 自治会 様に対応致します。

インテリアに
溶け込む
防災備蓄セット

お問合せは ☎0774-52-1797

有限会社 東洋理化

城陽市寺田高田59-2

お客様の快適な暮らしの
実現を目指して…

総合建設業

◇ 舗装工事	◇ 土木工事
◇ とび・土工工事	◇ 水道施設工事
◇ 解体工事	◇ 石工事
◇ 鋼構造物工事	◇ しゅんせつ工事
◇ 塗装工事	

浅野建設工業株式会社

〒611-0023 宇治市折居台1-4-9

TEL.0774-24-3600

浅野建設工業株式会社 検索

警戒レベルと防災気象情報

災害発生のおそれがある場合、大きく分けて2タイプの情報が発表されます。宇治市が発令する「警戒レベル」と、気象庁等から出される「防災気象情報」です。

「警戒レベル」は、宇治市が発令する避難情報等につされる数字で、災害発生のおそれの高まりに応じて住民の方々が取るべき行動と当該行動を住民の方々に促す情報とを関連づけるものです。

一方、「防災気象情報」は気象庁等が発表するもので、住民の方々が主体的に避難行動等を判断するための参考となる情報です。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報	市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	緊急安全確保 <small>※必ず発令される情報ではない</small>	命の危険 直ちに安全確保！ <small>・すでに安全な避難ができます。命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。</small>	5
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報	避難指示 第4次防災体制 <small>(災害対策本部設置)</small>	危険な場所から全員避難 <small>・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。</small>	4
	高潮特別警報	危険	危険な場所から高齢者等は避難 <small>・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。</small>	3
大雨の半日～数時間前	大雨警報	高齢者等避難 第3次防災体制 <small>(避難指示の発令を判断できる体制)</small>	自らの避難行動を確認 <small>・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。</small>	2
	※1 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒	災害への心構えを高める	1
大雨の数日～約1日前	大雨注意報	第2次防災体制 <small>(高齢者等避難の発令を判断できる体制)</small>		
	高潮注意報	第1次防災体制 <small>(連絡要員を配置)</small>		
	早期注意情報 <small>(警報級の可能性)</small>	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		

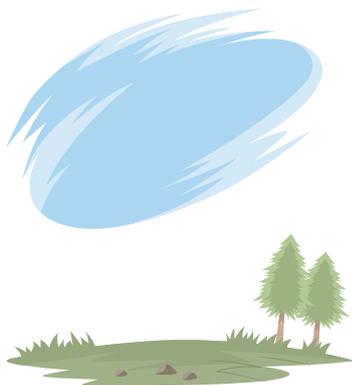
※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

出典：気象庁
「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成



防災情報
▼警戒レベルと防災気象情報

〈以下は広告スペースです〉



山城災害 復旧協会

もしもに
そなえよう

宇治市榎島町大川原58-7
TEL.0774-46-9650
FAX.0774-46-6959

建築板金・雨樋工事

三角板金

地元 宇治・城陽に地域密着!

TEL・FAX. 宇治市榎島町一ノ坪77-2
0774-24-1308

非常用持ち出し品

準備される際は「あったら便利なもの」よりも「なくてはならないもの」を考えてみてください。まずは3日分、できれば一週間分の備蓄をしましょう。日頃から食べているものや使っているものを少し多めに購入し、使った分を補充しながら日常的に備蓄する「ローリングストック」も効果的です。

《1次持ち出し品(避難するときにはまず持ち出すもの)》

貴重品



現金、権利証書、預貯金通帳、免許証、保険証、印鑑など。

非常食品



乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの。ミネラルウォーター、水筒など。

応急医療品



ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤など。

携帯ラジオ



FMつきのもの。
(予備電池は多めに用意)

衣類



下着、上着、タオルなど。

照明器具



懐中電灯、ろうそく、マッチ、ライターなど(予備電池も忘れずに)。

その他



常備薬を忘れずに。赤ちゃんがいる場合は液体ミルク・粉ミルクや紙おむつも必要。その他、マスク、消毒液、ポリ袋、歯ブラシ、眼鏡、コンタクトレンズなど。

《2次持ち出し品(災害復旧までの数日間を自給できるようにする)》

水



飲料水は1人1日3リットルが目安。煮沸してから飲むように。生活用水は風呂や洗濯機に貯水しておく。

燃料



卓上コンロや固形燃料など。卓上コンロのガスボンベは多めに用意。

食料品



米、缶詰、レトルト食品、梅干や調味料、調理器具も準備。缶切りも忘れずに。



情報の入手

- 自分に合った方法で入手を！
- 事前に複数の方法の確認を！
- 自分の得た情報を地域で共有を！



入手方法

- NHKテレビのデジタル放送(リモコンの"d"データ連動ボタンから)
- FMうじラジオ放送(88.8MHz)
- 携帯電話の緊急速報メール、エリアメール(登録不要)

- 京都府防災・防犯情報メール(登録者のみ)
- 宇治市ホームページや、フェイスブック、宇治市公式LINEに掲載
- 広報車による巡回広報
- 市職員、消防団員による呼びかけ

京都府防災・防犯情報メール

避難に関する情報や、災害時の生活情報等をお知らせします。

- 防災、防犯情報
- 防災訓練の案内
- その他、安全・安心に関する情報

平常時



- 避難所の情報
- 河川溢水や通行止めに関するお知らせ
- 各地域に対する避難指示等のお知らせ
- その他宇治市の被害情報等

災害時

登録方法

1. 携帯電話・パソコンで anzen@mail.bousai.pref.kyoto.lg.jp まで空メールを送信してください。
2. 登録案内のメールが返信されますので、そのメール内に記載されているアドレスへアクセスし、配信情報への受信登録を行ってください。
3. 登録が完了すると携帯電話の画面に登録完了の表示がされます。

QRコード対応の携帯電話で右のQRコードを読みとると、防災・防犯情報の登録用メールアドレスが表示されます。そのまま空メールを送信してください。



京都府マルチハザード情報提供システム

京都府マルチハザード情報提供システムは、インターネットを通じて京都府の水害、地震などの地図情報を提供するものです。

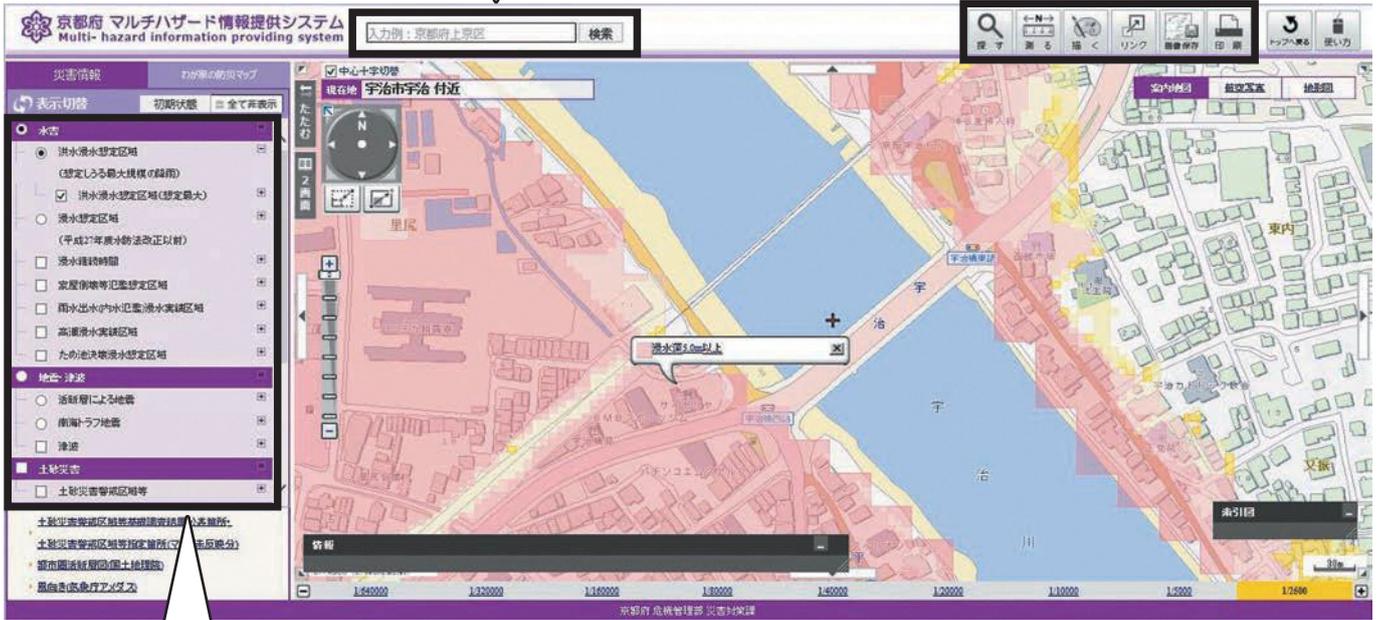
このシステムでは、「水害」、「地震・津波」、「土砂災害」、「防災情報」についての情報を閲覧することができ、任意に複数の災害情報を選択し、地図に重ね合わせて表示することができます。



また、簡易的な作図機能もあるため、地域独自の防災マップを作成し印刷することができます。

住所で検索することにより、簡単に任意の場所を確認できます。

図形やアイコン等を用いて作図することができます。



調べたい災害にチェックを入れることで、任意の情報を地図に反映させることができます。

次ページへ続く

〈以下は広告スペースです〉



メンテナンス・リニューアル
設計・製造販売・エレベーターのことなら、
全てお任せください。

地震や災害でエレベーターが動かなくなったら…
～京都の暮らしを守る企業～



京都エレベータ株式会社 TEL.075-822-0420

〒600-8352 京都市下京区吉文字町457番地

京都エレベータ 検索



国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)

地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)は、浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステムです。河川・破堤点(堤防決壊位置)を選択することにより、堤防決壊後、どこが・いつ・どれくらい浸水するかの変化をアニメーションやグラフで見ることができます。

堤防が決壊(破堤)した場合、自宅や職場等がどれくらい浸水するのか、何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのかをイメージすることができます。



時間の経過による浸水の被害状況の移り変わりをアニメーションで確認することができます。

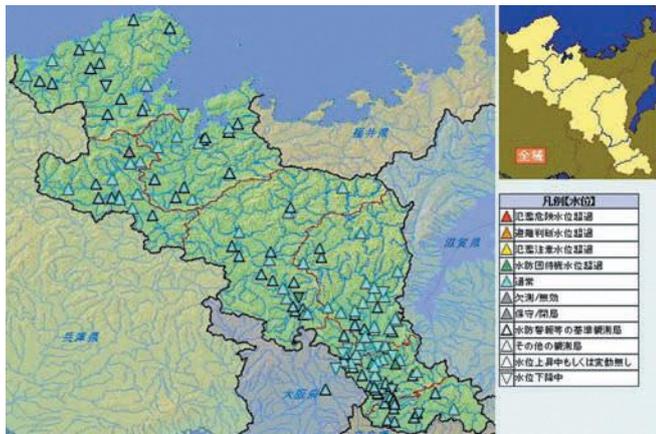
位置・破堤点を指定することにより、その地点での経過時間に応じた浸水深の変化を確認することができます。

破堤点を選択することにより、その地点で堤防が決壊した際の被害状況を確認することができます。

京都府河川防災情報

京都府河川防災情報では、府内の主要箇所の雨量・水位の情報や、監視カメラにより主要な河川の画像を見ることができます。

浸水ナビと併せて使用すると、さらに避難行動の目安を立てやすくなります。



府内河川の水位状況図

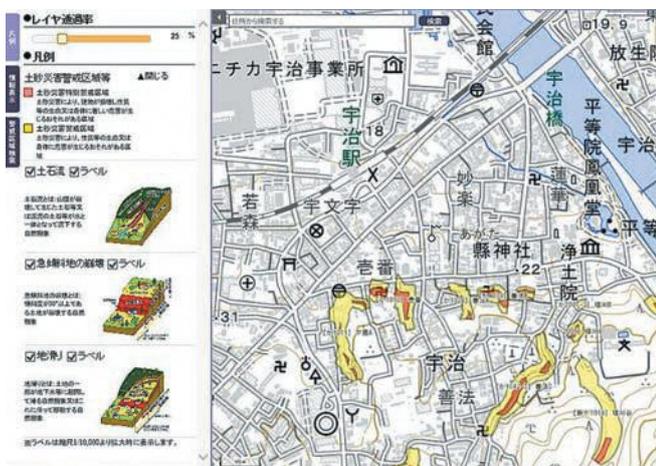


監視カメラによる河川のライブ画像

京都府土砂災害警戒情報

京都府土砂災害警戒情報では、土砂災害マップや土壌雨量指数等、土砂災害に関する様々な情報を確認することができます。

土砂災害の発生には土壌雨量(土壌に溜まった雨の量)が密接な関係があるため、雨が降り止んだ後にも発生の危険性があります。事前に情報を収集し、土砂災害発生の予兆を見逃さないことで、被害を抑えることができます。



土砂災害マップ

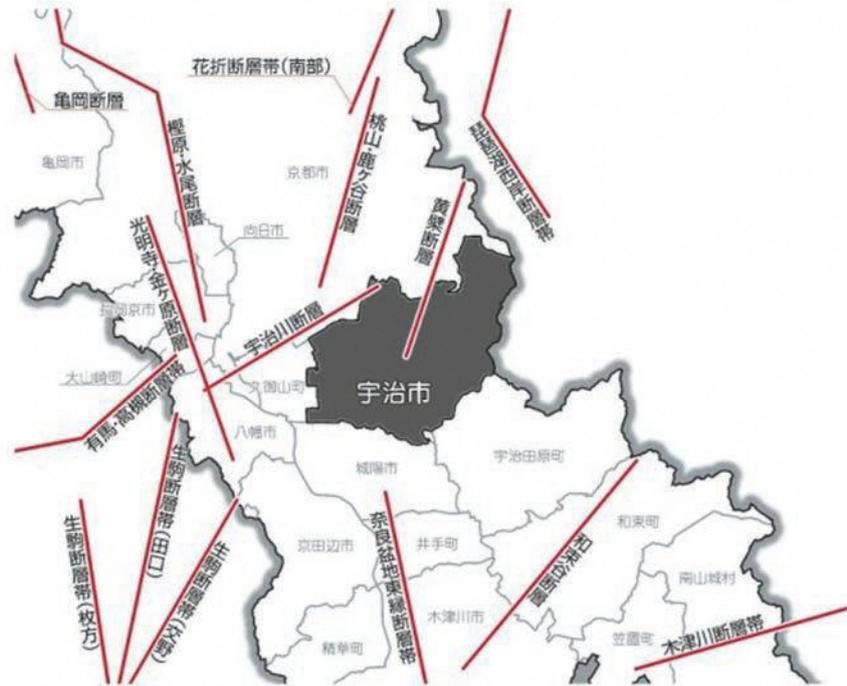


土壌雨量指数:大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報の判断基準に用いられます。

宇治市近辺の活断層位置図

宇治市近辺には多くの活断層があり、宇治市に大きな影響を与える活断層としては、黄檗断層、宇治川断層、生駒断層帯の3つが挙げられます。

また、37ページに記載の京都府マルチハザード情報提供システムで、活断層による地震の震度分布図を確認することができます。



出典：京都府地震被害想定調査

予想される被害

各地震時の被害規模を予測したものです

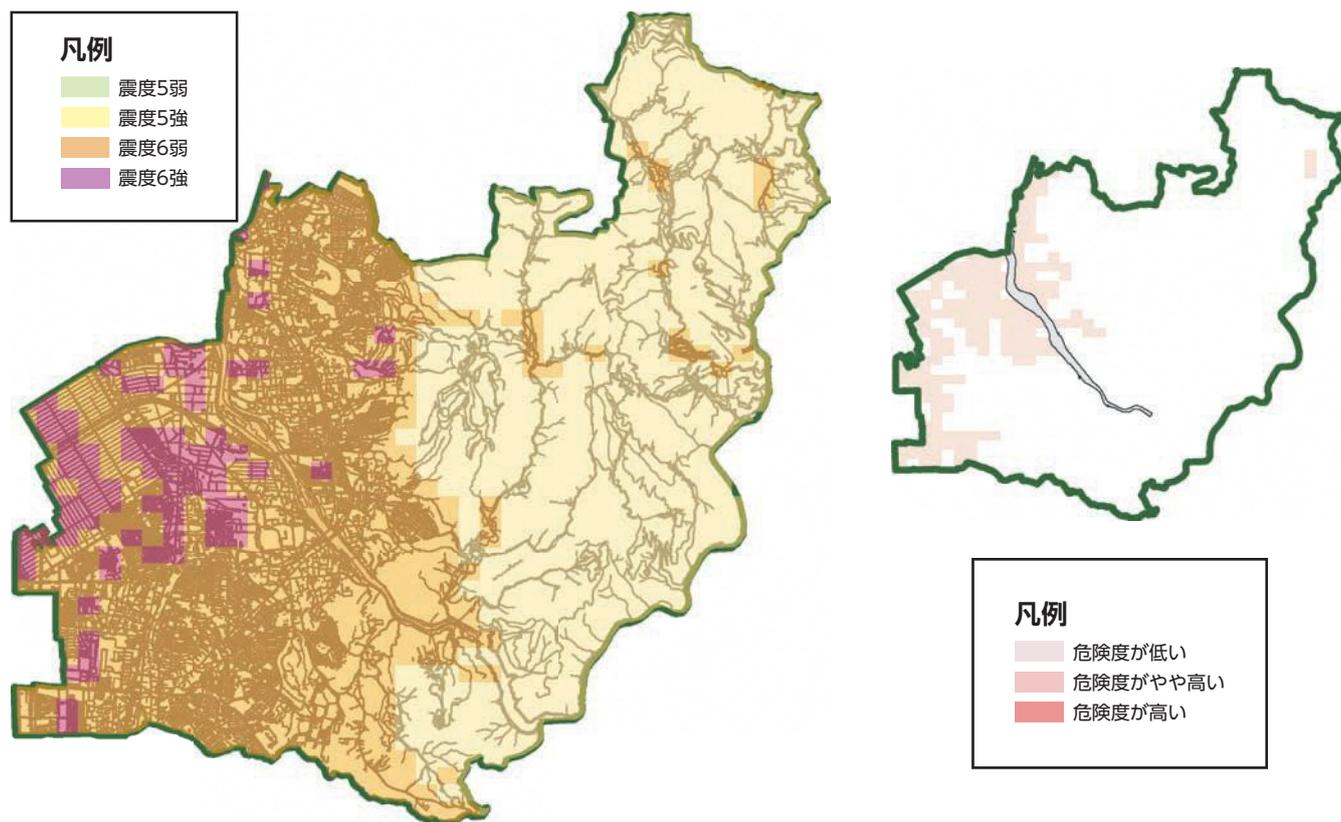
地震名称	想定震度	想定全壊数 (単位-戸)	想定半壊数 (単位-戸)	想定死亡者数 (単位-人)	想定負傷者数 (単位-人)	想定避難者数 (単位-人)
南海トラフ地震	6強	1,370	—	90	1,590	—
黄檗断層地震	6強	4,950	11,770	260	2,650	33,520
宇治川断層地震	6強	5,580	12,200	310	2,880	36,330
生駒断層帯地震	6強	9,130	16,020	590	4,300	53,660

出典：内閣府のデータに基づいた京都府被害想定(南海トラフ地震) 京都府地震被害想定調査



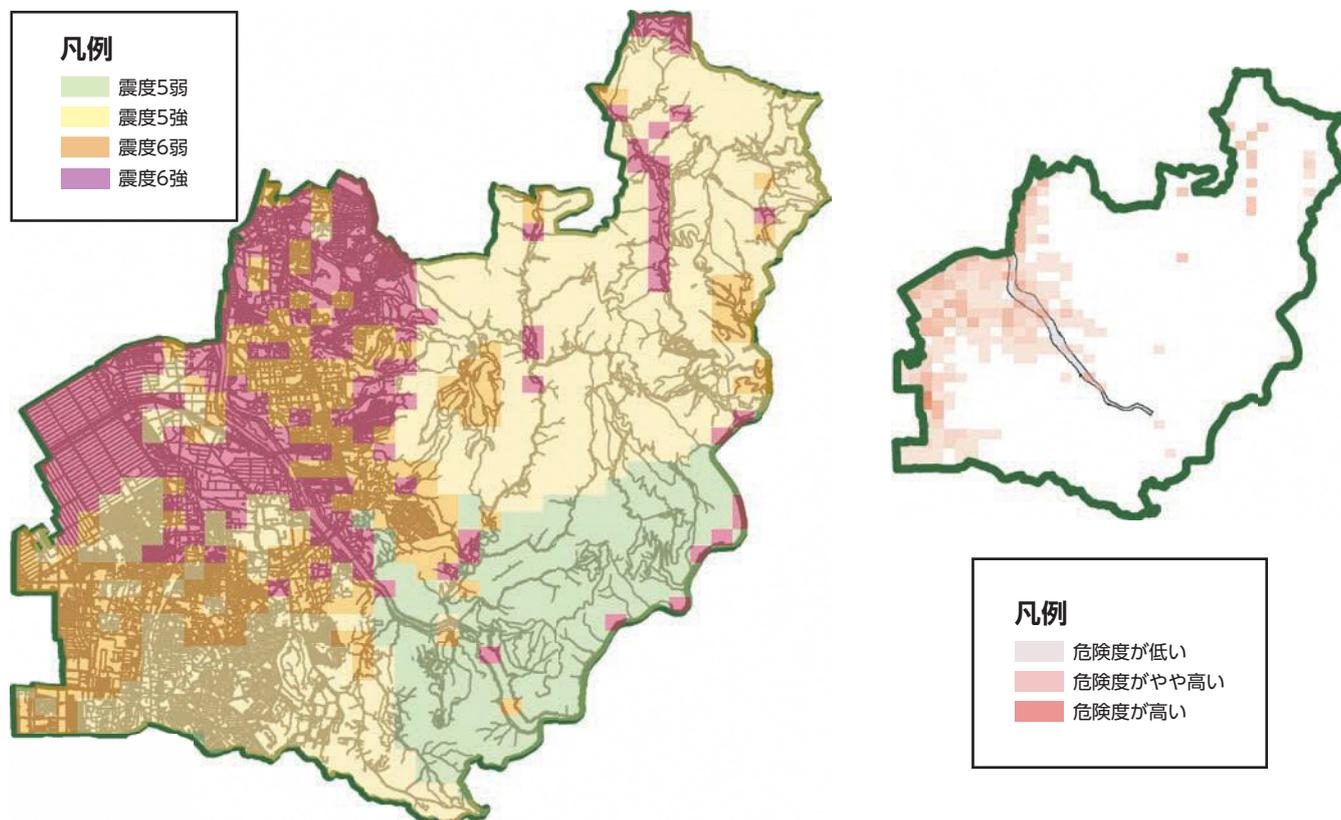
南海トラフ地震 震度分布図

関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に大きな被害をもたらすとされている「南海トラフ地震」による想定震度と液状化危険度をまとめています。



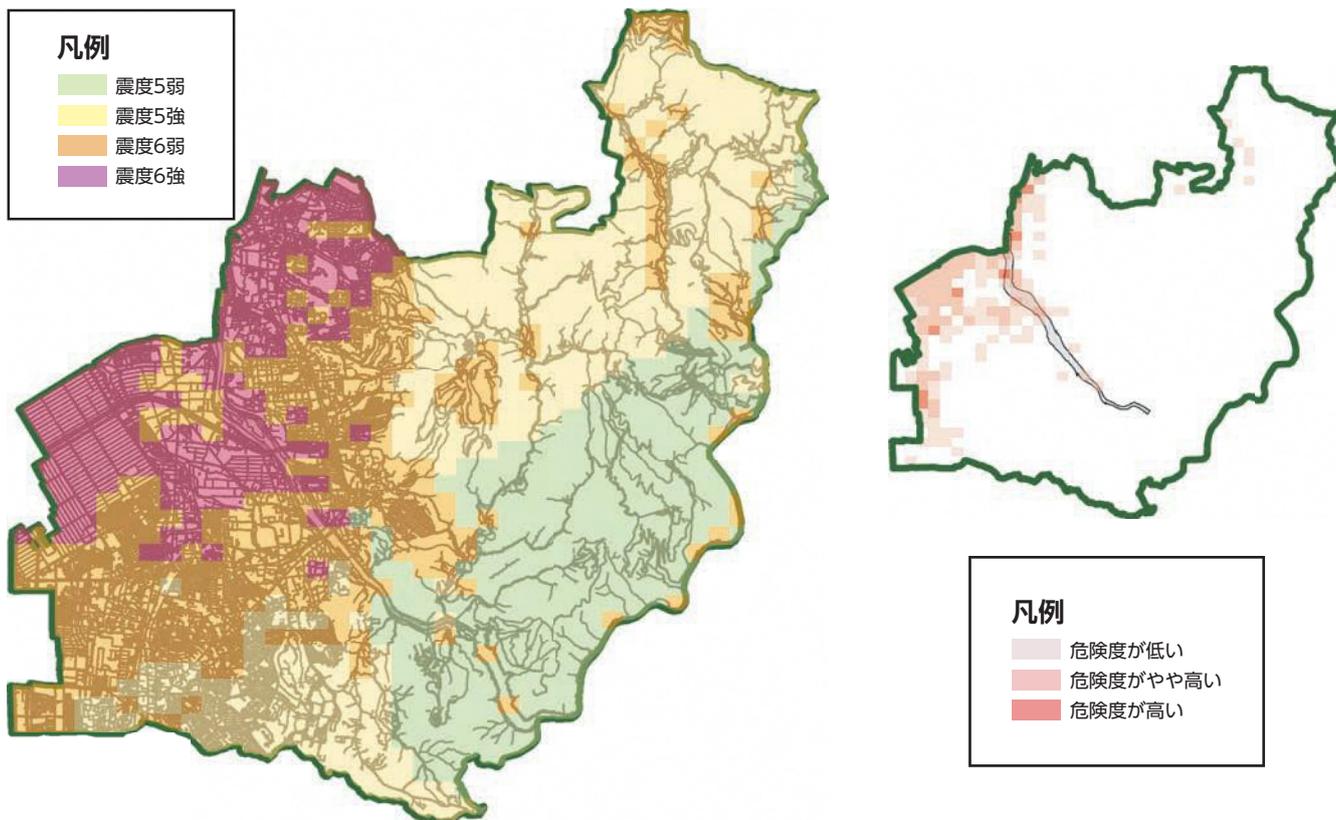
黄檗断層地震 震度分布図

京都市山科区から宇治市菟道にかけて生じている「黄檗断層地震」による想定震度と液状化危険度をまとめています。



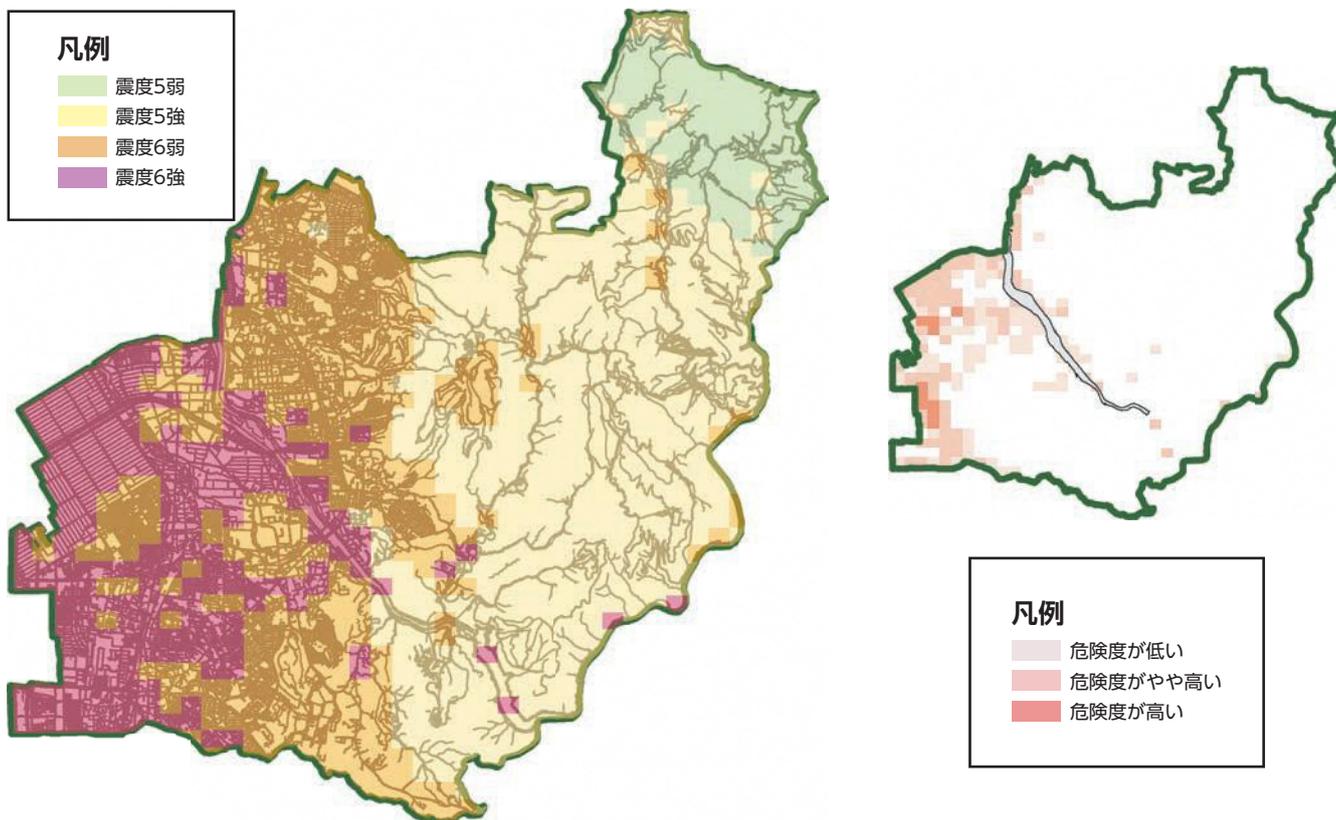
宇治川断層地震 震度分布図

宇治川沿いの地域で液状化の危険度が高いとされている「宇治川断層地震」による想定震度と液状化危険度をまとめています。



生駒断層帯地震 震度分布図

宇治市域に最も大きな被害をもたらすとされている「生駒断層帯地震」による想定震度と液状化危険度をまとめています。



『グッと!!』ときたらあわてず確実に

緊急地震速報

緊急地震速報で地震の発生を知った場合、周囲の状況に応じてあわてずまず身の安全を確保する

グッときたら

地震発生

命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- すばやく火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する



揺れが収まったら

1~3分

家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火元を確認・初期消火
- 外へ逃げる時は慌てない
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

山・がけ崩れの危険が予想される地域は、とにかくすぐ避難!

5~10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電話はなるべく使わない
- 電気のブレーカーを切る
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する
- ブロック塀には近寄らない

助け合いの心で

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

10分~数時間~避難生活では

震度階級表

各震度でどのような状態になるのかを簡単にまとめたものです

0	人は揺れを感じない。		
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	屋内にいる人の多くが揺れを感じ、電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。		
3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。棚にある食器類が、音を立てることがある。		
4	かなりの恐怖感があり、つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立て、座りの悪い置物が、倒れることがある。		
5弱	多くの人が、身の安全を守ろうとする。座りの悪い置物の多くが倒れ、窓ガラスが割れて落ちることがある。		
5強	非常な恐怖を感じる。テレビが台から落ちることがある。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。		
6弱	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い木造建物では倒壊するものもある。地割れや山崩れなどが発生することがある。		
6強	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリート建造物では倒壊するものがある。地割れや山崩れなどが発生することがある。		
7	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。		



※マグニチュードというのは、地震の規模を表し、震度というのは、各地点において、どのくらいの大きさの揺れが届いたのかを示すものです。

出典:気象庁



緊急地震速報

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。



緊急地震速報の流れ

出典:気象庁

集中豪雨に注意を!

気象情報に注意しましょう

大雨などによって川の水が堤防からあふれたり、堤防が壊れて川の水が流れ出たりすることを「外水はん濫」と言います。

市街地などに降った雨が、川に排水しきれずにその場に溜まってしまふことを「内水はん濫」と言います。

外水はん濫



内水はん濫



風の強さと想定される被害

平均風速(毎秒)	予報用語	想定される被害
10m以上～15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくい
15m以上～20m未満	強い風	風に向かって歩くことができない
20m以上～25m未満	非常に強い風 (暴風)	しっかり身体を確保しないと転倒する
25m以上～30m未満		立ってられない・樹木が倒れる・屋外での行動は危険
30m以上～	猛烈な風	屋根が飛び、木造住宅の全壊がはじまる

1時間の雨量と想定される被害

1時間の雨量	予報用語	想定される被害
10mm以上～20mm未満	やや強い雨	長く続く時は注意が必要
20mm以上～30mm未満	強い雨	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れ
30mm以上～50mm未満	激しい雨	山崩れやがけ崩れが起きやすくなる
50mm以上～80mm未満	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出・土石流が起こりやすい
80mm以上～	猛烈な雨	大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要



避難するときの注意点

水害時に避難する際の心得を理解しましょう

避難情報などが出されたら、すみやかに避難をしましょう。「まだ大丈夫」と自己判断せず、早め早めに対応することが命を守るポイントです。

1 足元に注意を

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所があります。長い棒をつえ代わりにして、確認しながら歩きましょう。



2 単独行動はしない

避難するときは2人以上で、はぐれないように、体をロープで結んで避難しましょう。



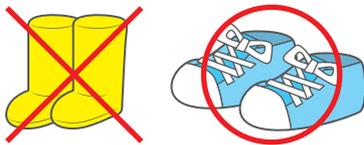
3 深さに注意

歩行可能な水深は股下まで(60cmくらい)です。水の流れが速ければ足首まで。水が腰まである場合は、高所で救援を待ちましょう。



4 動きやすく安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴は運動靴を。裸足・長靴は厳禁です。



5 子どもや高齢者などに配慮する

高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着けさせて、安全を確保しましょう。

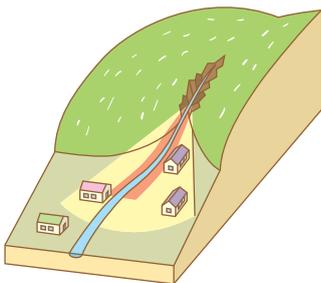


土砂災害の種類

たくさんの雨を含むと地盤が弱くなり、土砂災害が発生します

一般的に土砂災害というと「土石流」や「地すべり」、「がけ崩れ」を言い、雨の降り方が深く関わっています。発生原因や心がまえが異なりますので違いをよく理解しましょう。

土石流災害



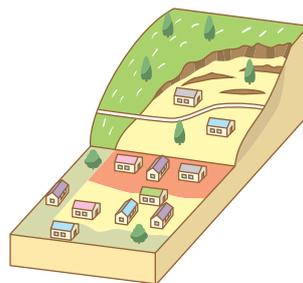
土石流とは…?

土石流とは、谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードが速く、破壊力も大きいので、広範囲に大きな被害が出ます。

こんな時は注意しましょう!

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り流木が混じりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 腐った土の臭いがする

地すべり災害



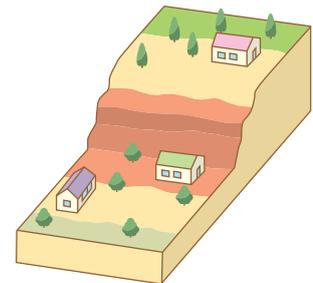
地すべりとは…?

地すべりとは、比較的ゆるやかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動き出す現象。一度に広範囲で発生するので、住宅や道路などに大きな被害が出ます。

こんな時は注意しましょう!

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

がけ崩れ災害



がけ崩れとは…?

がけ崩れとは、地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

こんな時は注意しましょう!

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がパラパラと落ちてくる
- がけから木の根が切れる音がする